

# 2025年度 シラバス(授業内容)

## 昼間部 1 年 鉄道科 鉄道・交通サービスコース

### 1.シラバスとは

シラバスは、授業の内容を予め受講者に知らせるもので、到達目標・使用教材・単位数等が記載されています。当校の教育理念は「ホスピタリティマインド豊かな社会人の育成」です。ホスピタリティとはお客様をおもてなしすること、心配り・気配り・思いやりを意味します。相手の立場に立って考え、行動できる人間を育成することを念頭にカリキュラム編成をしています。同時に卒業後、即戦力として活躍できるよう専門分野においても基礎・応用からの実践教育を取り入れたカリキュラムとなっています。

### 2.科目編成(カリキュラム)の概要

科目編成は、共通科目と専門科目です。

全科目が必修科目となり、卒業にはすべての単位取得が必要です。

(1) 共通科目: 人間力を高めること、職業人として必要なビジネス教養を身に付ける科目構成です。

(2) 専門科目: 各科各コースの専門分野に即した科目構成です。



学校法人 中村学園

国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校



# 共通科目

## 25 年度シラバス（授業計画）

科目名	キャリアデザインⅠ・Ⅱ		科目区分	共通科目
対象	昼間部・夜間部全コース		授業形式	演習
実施期	1年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数 前期：26時間 後期：26時間
担当	講師名：就職室			
	実務経験：有・無	実務経験内容：		
授業概要	専門学校への入学は、就職を前提とした各人の進路を見出すことが大きな意義です。就職をする上で最も重要なことは自分を知ることです。当授業では、職業人としての心構えを身に付け、自己分析・企業研究を行い、内定へ向けたサポートを行います。			
到達目標	1、社会人へのステップに繋がる職業人としての基礎知識とマインドを身につける。 2、学生生活や人間関係、将来の仕事などで役に立つ自分の強みについて知る。 3、就職活動の基本的な考え方を理解し、実践に備える。 4、内定を勝ち取るための準備を進め、就職活動を通じて社会で通用する人材を目指す。			
検定資格	なし・必修・任意 名称：			
教科書 教材	専門学校生のための就職内定基本テキスト（日本能率協会マネジメントセンター）			
授業計画	1 キャリアデザインとは 「仕事」とは？ 人はなぜ働くのか	1 就職活動スケジュール 求人票の見かた(雇用形態・社会保険・年金制度など)		
	2 キャリアデザインについて① 進路を考えよう（キャリア形成）・専門学生の強みを知る	2 身だしなみについて(就職活動本番の身だしなみ・マナーについて)		
	3 キャリアデザインについて② 企業で求められる人材とは？専門学生の就職活動の流れ	3 履歴書・ESの書き方演習		
	4 自己分析① 就職活動は自己分析から始まる ライフラインチャートを作ろう	4 就職活動における学内ルールについて (求人種別・キャリアサポートセンター利用方法について)		
	5 自己分析② 「これまで何をしてきたか」「今、何をしているか」「これから何をしたいか」を考える	5 自己PR作り方		
	6 自己分析③ 「努力したこと」「自分の性格」を考える	6 会社について知る 企業講演会①		
	7 性格診断 MBTIからみた自身の傾向と向き合う 結果をもとに「長所・短所」を考える	7 志望動機の作り方		
	8 企業研究① 企業研究の進め方 業種・職種を調べる	8 会社について知る 企業講演会②		
	9 企業研究② 先輩の就職先について調べる	9 面接について①(グループディスカッション・面接対策)		
	10 企業研究③ 各企業の特徴について調べる	10 会社について知る 企業講演会③		
	11 企業研究④ 企業の最新動向を把握する	11 面接演習① (本番を想定した面接練習)		
	12 就職活動サイトの登録(マイナビ) 期末試験対策	12 面接演習② (本番を想定した面接練習)		
	13 期末試験返却・解説 前期の振り返り	13 期末試験返却・解説 後期の振り返り		
成績評価方法	下記評価基準に基づく			
成績評価基準	A：評価試験 85%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 65%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可			

25年度シラバス（授業計画）

科目名	ビジネスコミュニケーションⅠ			科目区分	共通科目
対象	全学科 全コース1年生			授業形式	演習
実施期	1年 前期	単位数	前期：1単位	時間数	前期：26時間
担当	講師名：井部・須田（礼）・橋本（幸）				
	実務経験：有・無	実務経験内容：			
授業概要	観光ビジネス業界にふさわしいマナーや必要知識を身に付けること。 ビジネスマナーを基にロールプレイを交えた内容で学ぶ。				
到達目標	1年次前期の企業実習や後期から始まる就職活動で自信をもって行動できるようになる。				
検定資格	なし・必修・ <u>任意</u> 名称：				
教科書 教材	秘書検定合格教本2・3級 新星出版社				
授業計画	1 挨拶の重要性・第一印象の重要性 実践ロールプレイ				
	2 相手に良い印象を与えるコツ 実践ロールプレイ				
	3 自己管理4つのポイント				
	4 社会人としてのルール				
	5 報告・連絡・相談 実践ロールプレイ				
	6 敬語の種類・正しい敬語の使い方				
	7 接遇用語の表現				
	8 接遇の立ち居振る舞い（受付・名刺の受け取り方） 実践ロールプレイ				
	9 ビジネス文書（基本文書体裁とルール、宛名書き） 実践ビジネス文書の作成				
	10 ビジネスメール 実践ビジネスメールの作成				
	11 電話のかけ方 実践ロールプレイ				
	12 電話の受け方と取り次ぎ方 実践ロールプレイ				
	13 まとめと振り返り				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験80%以上、出席率90%以上、平常点 優 B：評価試験60%以上、出席率80%以上、平常点 良 C：評価試験40%以上、出席率60%以上、平常点 可 D：評価試験40%未満、出席率60%未満、平常点 不可				

25年度シラバス（授業計画）

科目名	デジタルスキルⅠ・Ⅱ			科目区分	共通科目
対象	1年生 全学科			授業形式	演習
実施期	1年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：26時間 後期：26時間
担当	講師名：宮崎・中島				
	実務経験：有・無	実務経験内容：			
授業概要	現代社会において、基本的なパソコン操作は必須スキルです 基礎的なPC操作を理解するとともに、Word Excelの基本操作を修得します				
到達目標	アプリケーションの起動やファイル操作をはじめ、Word Excelを使用した簡易的な文書作成ができることを目標とします。また、文書作成において重要なタッチタイピングスキルを“ホームポジションを意識して両手で文字が打てるレベル”まで伸ばしましょう				
検定資格	なし・必修・任意 名称：				
教科書 教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「30時間アカデミック情報リテラシー Office2016」(実教出版)</li> <li>・USBメモリ</li> </ul>				
授業計画	1	Word 基礎,タイピング等	1	Excel 基礎,等	
	2	Word 基礎,タイピング等	2	Excel 基礎,等	
	3	Word 基礎,タイピング等	3	Excel 基礎,等	
	4	Word 基礎,タイピング等	4	Excel 基礎,等	
	5	Word 基礎,タイピング等	5	Excel 基礎,等	
	6	Word 基礎,タイピング等	6	Excel 基礎,等	
	7	Word 基礎,タイピング等	7	Excel 基礎,等	
	8	Word 基礎,タイピング等	8	Excel 基礎,等	
	9	Word 基礎,タイピング等	9	Excel 基礎,等	
	10	Word 基礎,タイピング等	10	Excel 基礎,等	
	11	Word 基礎,タイピング等	11	Excel 基礎,等	
	12	テスト前予習	12	テスト前予習	
	13	テスト返却,確認	13	テスト返却,確認	
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 80%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 70%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 60%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

25年度シラバス（授業計画）

科目名	Let's Speak English I・II			科目区分	共通科目
対象	昼間部全学科全コース			授業形式	演習
実施期	1年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：26時間 後期：26時間
担当	講師名：Native teacher				
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無	実務経験内容：			
授業概要	Anyone can speak English with foreigners with some effort. Simple key sentences and concepts are practiced through conversation, listening, and activities. Classes are divided by level, but all classes are taught in English only, with a native English speaker.				
到達目標	Communication in simple English about everyday topics. Students will be able to communicate with people from different countries and cultures.				
検定資格	なし・必修・任意 名称：				
教科書 教材	Speak Now Level 1 Student Book (Oxford)				
授業計画	1 Self-introductions & greetings		1 Asking about family & family members		
	2 Introducing others		2 Describing & comparing personality		
	3 Asking for personal information & repetition		3 Giving & responding to compliments		
	4 Making small talk		4 Talking about clothes		
	5 Review of weeks 1-4		5 Review of weeks 1-4		
	6 Expressing likes & dislikes		6 Talking about routines		
	7 Asking about favourites		7 Asking follow-up questions		
	8 Asking about & telling the time		8 Talking about sequences		
	9 Asking for & giving opinions		9 Talking about ongoing activities		
	10 Review of weeks 6-9		10 Review of weeks 6-9		
	11 Test preparation		11 Test preparation		
	12 Speaking test		12 Speaking test		
	13 Review		13 Review		
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 60%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 50%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 50%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

鉄道・交通サービスコース

専門科目

25年度シラバス（授業計画）

科目名	鉄道業務実務Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	鉄道科 鉄道・交通サービスコース			授業形式	演習
実施期	1年 <input type="checkbox"/> 前期・ <input type="checkbox"/> 後期	単位数：4単位	前期：2単位 後期：2単位	時間数	前期：52時間 後期：52時間
担当	講師名：響 丈				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	実務経験内容：京王電鉄にて11年勤務			
授業概要	鉄道の基礎的な知識を身につけます。駅や車内の案内放送や作業の際の基本動作の励行・定時運行の確保など、実際の業務をロールプレイングすることにより、鉄道業界で働くということを体感します。また、鉄道業界で働くうえで必要な考え方や、行動力を身につけます。				
到達目標	現場で即戦力となる人材になる。				
検定資格	<input checked="" type="checkbox"/> なし・ <input type="checkbox"/> 必修・ <input type="checkbox"/> 任意 名称：				
教科書 教材	研友社：わかりやすい鉄道技術[鉄道概論・車両編・運転編]-改訂版-				
授業計画	1 オリエンテーション	1 駅務・車掌乗務実践1・定時運行の確保			
	2 鉄道の基礎知識1	2 駅務・車掌乗務実践2			
	3 鉄道の基礎知識2	3 駅務・車掌乗務実践3			
	4 鉄道の基礎知識3	4 駅務・車掌乗務実践4			
	5 鉄道の基礎知識4	5 駅務・車掌乗務実践5			
	6 鉄道の基礎知識5	6 駅務・車掌乗務実践6			
	7 基本動作とは	7 駅務・車掌乗務実践7			
	8 放送実践1	8 駅務・車掌乗務実践8			
	9 放送実践2	9 駅務・車掌乗務実践9			
	10 放送実践3	10 駅務・車掌乗務実践10			
	11 放送実践4	11 駅務・車掌乗務実践11			
	12 実技テスト	12 実技テスト			
	13 テスト返却・後期の授業準備	13 テスト返却・2年次の授業準備			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験90%以上、出席率90%以上、平常点 優 B：評価試験70%以上、出席率80%以上、平常点 良 C：評価試験40%以上、出席率60%以上、平常点 可 D：評価試験40%未満、出席率60%未満、平常点 不可				

25年度シラバス（授業計画）

科目名	国内観光資源Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	観光科 トラベルアウトドアコース / 鉄道科 鉄道交通サービスコース			授業形式	講義
実施期	1年 <input type="checkbox"/> 前期・ <input type="checkbox"/> 後期	単位数：4単位	前期：2単位 後期：2単位	時間数	前期：52時間 後期：52時間
担当	講師名：松川 信也				
	実務経験： <input type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	実務経験内容：元旅行添乗員。旅行コンサルティング会社経営。総合旅行業務取扱管理者			
授業概要	日本全国の観光資源、自然景観、郷土文化全般を体系的に学び、国内旅行の実務を行う上での必要知識を習得する。				
到達目標	1.国内旅行の実務上必要となる観光資源の傾向を理解する。 2.日本国内の主要な観光資源の内容を説明できるようになる。 3.観光ビジネスを支える国内輸送手段（鉄道・航空）についての理解を深める。				
検定資格	なし・必修・ <input type="checkbox"/> 任意 名称：国内旅行業務取扱管理者 世界遺産検定				
教科書 教材	「国内観光資源」(JTB 総研) 「旅に出たくなる地図・日本」(帝国書院)				
授業計画	1	2025 国内旅行の主要動向（1）	1	日本の祭（1）－秋①	
	2	2025 国内旅行の主要動向（2）	2	日本の祭（1）－秋②	
	3	日本の基本観光地（1）	3	国内主要鉄道網	
	4	日本の基本観光地（2）	4	日本の新幹線	
	5	日本の基本観光地（3）	5	日本の祭（2）－冬①	
	6	日本の世界遺産（1）	6	日本の祭（2）－冬②	
	7	日本の世界遺産（2）	7	国内航空・空港の知識（1）	
	8	日本の世界遺産（3）	8	国内航空・空港の知識（2）	
	9	日本の主要観光地全般（1）	9	日本の祭（3）－春①	
	10	日本の主要観光地全般（2）	10	日本の祭（3）－春②	
	11	日本の国立公園及び関連観光地（1）	11	日本の食文化	
	12	日本の国立公園及び関連観光地（2）	12	日本の祭（4）－夏①	
	13	日本の国立公園及び関連観光地（3）	13	日本の祭（4）－夏②	
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 80%以上、平常点 優 B：評価試験 60%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

25年度シラバス（授業計画）

科目名	SNS プロモーション I・II		科目区分	専門科目
対象	観光科トラベルアウトドアコース・鉄道科鉄道交通サービスコース		授業形式	演習
実施期	1年 <input type="checkbox"/> 前期・ <input type="checkbox"/> 後期	単位数：2単位	前期：1単位 後期：1単位	時間数 前期：26時間 後期：26時間
担当	講師名：間野 圭子			
	実務経験： <input type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	地域活性化団体に所属しながら、企業や自治体との業務を実施。		
授業概要	SNS を活用し、観光プロモーションの創り出し方を学ぶ。主に Instagram を実際に運用しながら、効果的なプロモーションについて実践的な経験を習得する。各 SNS の運用をはじめ、プロモーション全体として戦略的なアプローチ方法を学ぶ。			
到達目標	基本的な Instagram の運用ができるようになる。プロモーションの意味を理解し、その手段として SNS を使うことができる。Instagram を使った効果的なプロモーションを企画運用できる。SNS ごとの特徴を活かし、総合的にプロモーションできるようになる。			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・ <input type="checkbox"/> 必修・ <input type="checkbox"/> 任意 名称：			
教科書 教材	なし（適宜、資料を用意します）			
授業計画	1 SNS とは 世代別・世の中の SNS	1 Instagram の広告①		
	2 Instagram アカウントの作り方～基本機能	2 Instagram の広告②		
	3 デザインの重要性	3 プロフィールの役割		
	4 デザインの基本	4 投稿の種類		
	5 写真の撮り方①	5 リールの役割		
	6 写真の撮り方②	6 リールでリーチ数を伸ばす		
	7 掲載文の作り方	7 ダッシュボード分析①		
	8 ハッシュタグ、キャッチコピー	8 ダッシュボード分析②		
	9 ストーリーズ・リールの作り方	9 SNS 連携プロモーション①		
	10 効果的な連続投稿	10 SNS 連携プロモーション②		
	11 プロフェッショナルダッシュボード	11 リスク管理①		
	12 まとめ①	12 リスク管理②		
	13 まとめ②	13 まとめ		
成績評価 方法	下記評価基準に基づく			
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 70%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可			

25年度シラバス（授業計画）

科目名	時刻表実務Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	鉄道科 鉄道・交通サービスコース			授業形式	講義
実施期	1年 前期・後期	単位数：2単位	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：26時間 後期：26時間
担当	講師名：中山 健也				
	実務経験：(有)・無	実務経験内容：鉄道会社にて駅員、乗務員経験あり。			
授業概要	旅行・鉄道に関連する業務に従事するものにとって必要不可欠な時刻表の基本的な使用方法を習得していきます。初めて時刻表に触れる学生が多いと思いますが、初めて学習する学生が理解できるように、基礎的な問題から順序立てて、進めていきます。				
到達目標	業界で必要とされる時刻表実務能力の習得を最終目標とする。				
検定資格	なし・必修・任意 名称：				
教科書 教材	「JR時刻表」(交通新聞社)				
授業計画	1 時刻表の基礎的な使い方	1 前期の振り返り			
	2 さくいん地図の見方①	2 特急列車の乗継(早見表)			
	3 さくいん地図の見方②	3 車両編成・座席配置図			
	4 駅構内図、地下鉄路線図	4 運賃料金の算出①			
	5 列車時刻の調べ方①	5 運賃料金の算出②			
	6 列車時刻の調べ方②	6 グリーン料金・寝台料金			
	7 列車時刻の調べ方③	7 ハイウェイバス・定期観光バス			
	8 列車の乗り継ぎ①	8 航空ダイヤの見方・計算について			
	9 列車の乗り継ぎ②	9 総合演習問題(さくいん地図、列車時刻)			
	10 列車の乗り継ぎ③	10 総合演習問題(会社線、特急列車)			
	11 特急列車の早見表(時刻)	11 乗継早見表と運賃料金早見表(基本)			
	12 期末試験対策	12 期末試験対策			
	13 期末試験解説	13 期末試験解説			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験80%以上、出席率90%以上、平常点 優 B：評価試験60%以上、出席率80%以上、平常点 良 C：評価試験30%以上、出席率60%以上、平常点 可 D：評価試験30%未満、出席率60%未満、平常点 不可				

25年度シラバス（授業計画）

科目名	旅行業法・旅行業約款Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	鉄道科 鉄道・交通サービスコース			授業形式	講義
実施期	1年 <input type="checkbox"/> 前期・ <input type="checkbox"/> 後期	単位数：2単位	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：26時間 後期：26時間
担当	講師名：立石 智之				
	実務経験： <input type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	実務経験内容：旅行会社の営業及びコールセンターにて実務経験あり。			
授業概要	「旅行業法」は旅行会社とお客様との間にトラブルがないよう国と旅行会社の間に定められた『法律』です。「旅行業約款」は旅行会社とお客様と旅行を契約する上での『約束事』です。どちらも具体例をあげながら“旅行業界のルール”を学習し、過去問を解いて国家試験対策を行います。				
到達目標	観光業界を広く知ることによって自身が目指す業界がどのように社会と関わりを持っているかを学びます。				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・ <input type="checkbox"/> 必修・ <input type="checkbox"/> 任意 名称：				
教科書 教材	「旅行業法及びこれに基づく命令」（JTB総研） 「旅行業約款、各種運送約款・料金」（JTB総研）				
授業計画	1 旅行業法①（目的・定義）	1 旅行業法⑥（契約の締結）			
	2 旅行業法②（登録）	2 旅行業法⑦（契約の解除、団体グループ契約）			
	3 旅行業法③（旅行業について）	3 旅行業法⑧（旅程管理・損害賠償）			
	4 旅行業法④（募集型企画旅行）	4 旅行業法⑨（受注型企画旅行・手配旅行）			
	5 旅行業法⑤（取引条件の説明）	5 旅行業法⑩（旅行業協会）			
	6 旅行業約款①（標準旅行業約款）	6 旅行業約款⑥（解除権、団体グループ契約）			
	7 旅行業約款②（募集型：適用範囲など）	7 旅行業約款⑦（特別補償規程）			
	8 旅行業約款③（用語の定義、契約）	8 旅行業約款⑧（旅程保証）			
	9 旅行業約款④（契約書面と流れ）	9 旅行業約款⑨（受注型企画旅行）			
	10 旅行業約款⑤（確定書面と流れ）	10 旅行業約款⑩（手配旅行、旅行相談契約）			
	11 旅行業法 振り返り	11 旅行業法 振り返り			
	12 旅行業約款 振り返り	12 旅行業約款 振り返り			
	13 期末試験解説	13 期末試験解説			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験および授業理解度 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験および授業理解度 60%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験および授業理解度 40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験および授業理解度 40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

25年度シラバス（授業計画）

科目名	自己表現Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	鉄道科 鉄道・交通サービスコース			授業形式	演習
実施期	1年 <input type="checkbox"/> 前期・ <input type="checkbox"/> 後期	単位数：2単位	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：26時間 後期：26時間
担当	講師名：響 丈				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有・無	実務経験内容：ボイストレーナー歴11年			
授業概要	日常、無意識に過ごしていると気づかない自分の殻を破り、伝える力をつける。				
到達目標	企業での面接時にきちんと自分の思いを伝えられるようになる。				
検定資格	<input checked="" type="checkbox"/> なし・必修・任意 名称：				
教科書 教材	プリントを配布				
授業計画	1 自己紹介・オリエンテーション	1 前期の復習			
	2 言葉で伝えるとはどんなことなのか	2 演劇1			
	3 腹式呼吸・発声の基本1	3 演劇2			
	4 腹式呼吸・発声の基本2	4 演劇3			
	5 腹式呼吸・発声の基本3	5 演劇4			
	6 日本語の基本1	6 演劇5			
	7 日本語の基本2	7 演劇6			
	8 日本語の基本3	8 スピーチ1			
	9 ナレーション1	9 スピーチ2			
	10 ナレーション2	10 スピーチ3			
	11 ナレーション3	11 面接対策			
	12 実技テスト	12 実技テスト			
	13 テスト返却と後期への課題	13 テスト返却			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験90%以上、出席率90%以上、平常点 優 B：評価試験70%以上、出席率80%以上、平常点 良 C：評価試験40%以上、出席率60%以上、平常点 可 D：評価試験40%未満、出席率60%未満、平常点 不可				

25年度シラバス（授業計画）

科目名	JR 運賃・料金 I・II			科目区分	専門科目
対象	鉄道科 鉄道・交通サービスコース			授業形式	講義
実施期	1年 前期・後期	単位数：2単位	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：26時間 後期：26時間
担当	講師名：中山 健也				
	実務経験：(有)・無	実務経験内容：鉄道会社にて駅員、乗務員経験あり。			
授業概要	JRの運賃料金システムについて、実務者として必要な知識・技術を身に付けるとともに、国内旅行業務取扱管理者試験で必要とされる能力を培い試験対策としていきます。国家試験の合格はもとより、業界で必要とされる知識の習得を目指して学習していきます。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内旅行業務取扱管理者試験の合格</li> <li>業界で必要とされる実務能力の習得</li> </ul>				
検定資格	なし・必修・任意 名称：国内旅行業務取扱管理者				
教科書教材	国内運賃・料金 (JTB 総合研究所)				
授業計画	1 JR各社について	1 団体運賃の計算について			
	2 幹線と地方交通線について	2 JR料金の基本的な考え方			
	3 幹線と地方交通線の計算	3 特急料金の変動			
	4 片道運賃の計算	4 グリーン料金、寝台料金、個室について			
	5 通過連絡運輸、連続運賃について	5 新幹線乗継ぎについて			
	6 通過連絡運輸、連続運賃の計算について	6 在来線の特急料金の乗継ぎについて			
	7 特定都区市内制度について	7 JR各社にまたがる新幹線の料金計算			
	8 特定都区市内制度の計算	8 各新幹線の料金計算について①			
	9 学生割引、往復割引制度について	9 各新幹線の料金計算について②			
	10 学生割引、往復割引制度の計算	10 乗車券類の取扱いについて			
	11 団体割引運賃について	11 払い戻し計算について			
	12 期末試験対策	12 期末試験対策			
	13 期末試験解説	13 期末試験解説			
成績評価方法	下記評価基準に基づく				
成績評価基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 60%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 30%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 30%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	国内旅行実務 I			科目区分	専門科目
対象	観光科トラベルアウトドアコース・鉄道科鉄道交通サービスコース			授業形式	講義
実施期	1 年 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">前期</span>	単位数：1 単位	前期：1 単位	時間数	前期：26 時間
担当	講師名：舟寶 加代子				
	実務経験：有	実務経験内容：旅行会社にて国内海外実務の経験あり。			
授業概要	JR・貸切バス・フェリー運送・宿泊機関の運賃料金のシステムについて、実務者として必要な知識・技術を身につけるとともに、国内旅行業務取扱管理者試験で必要とされる能力を培い試験対策としていきます。国家試験の合格はもとより、業界で必要とされる知識の習得を目指して学習していきます。				
到達目標	国内旅行業務取扱管理者試験を受験する際に必要な知識の習得				
検定資格	任意 名称：国内旅行業務取扱管理者試験				
教科書 教材	「国内運賃・料金」「旅行業約款」（JTB 総研） 過去問題プリント				
授業計画	1 約款とは 1				
	2 募集型企画旅行約款（契約の締結）				
	3 募集型企画旅行約款（契約の変更）				
	4 募集型企画旅行約款（契約の拒否）				
	5 募集型企画旅行約款（責任）				
	6 募集型企画旅行約款（特別保障）				
	7 募集型企画旅行約款（旅程保証）				
	8 受注型企画旅行約款				
	9 手配型企画旅行約款				
	10 渡航代行契約・相談約款				
	11 貸切バス約款・運賃料金				
	12 フェリー・宿泊・国内航空約款・運賃料金				
	13 期末テスト返却 及び 回答・解説				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：授業理解度 80%以上、出席率 90%以上、平常点優 B：授業理解度 60%以上、出席率 80%以上、平常点良 C：授業理解度 40%以上、出席率 60%以上、平常点可 D：授業理解度 40%未満、出席率 60%未満、平常点不可				

25年度シラバス（授業計画）

科目名	観光業界ガイドⅠ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	鉄道科 鉄道・交通サービスコース			授業形式	講義
実施期	1年 前期・後期	単位数：2単位	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：26時間 後期：26時間
担当	講師名：中山 健也				
	実務経験：(有)・無	実務経験内容：鉄道会社にて駅員、乗務員経験あり。			
授業概要	鉄道業界を目指す上で鉄道業界にどのような企業があるのか又、その企業の特徴は何かを理解し、就職活動に向け企業研究の下準備を行います。業界は進化し続けていますので近年の業界動向を理解し、自分がどの企業に向いているかを知ること、自分がどこの企業を受験したいのか、他企業との違いは何なのかを理解していきましょう。				
到達目標	各鉄道企業について知る。				
検定資格	なし・必修・任意 名称：				
教科書教材	なし				
授業計画	1 観光業界全体の構成・業界動向	1 鉄道業界の仕事（運輸系・技術系の紹介）①			
	2 鉄道業界について	2 鉄道業界の仕事（運輸系・技術系の紹介）②			
	3 テーマパーク業界（運営）について	3 現場での事象についてディスカッション			
	4 テーマパーク業界（エンターテイメント）について	4 私鉄各企業について			
	5 旅行業界について	5 JR各企業について			
	6 エアライン業界について	6 適性検査受検			
	7 ホテル業界（宿泊）について	7 鉄道の現場見学（東京地下鉄）			
	8 ブライダル業界について	8 鉄道の現場見学（東京地下鉄）			
	9 ホテル業界（料飲）について	9 鉄道の現場実習（千葉都市モノレール）			
	10 ケーススタディ（テーマパーク編）	10 鉄道の現場実習（千葉都市モノレール）			
	11 ケーススタディ（旅行、鉄道編）	11 鉄道の現場実習（千葉都市モノレール）			
	12 期末試験対策	12 期末試験対策			
	13 期末試験解説	13 期末試験解説			
成績評価方法	下記評価基準に基づく				
成績評価基準	A：評価試験80%以上、出席率90%以上、平常点 優 B：評価試験60%以上、出席率80%以上、平常点 良 C：評価試験30%以上、出席率60%以上、平常点 可 D：評価試験30%未満、出席率60%未満、平常点 不可				

25年度シラバス（授業計画）

科目名	バリアフリー			科目区分	専門科目
対象	鉄道科 鉄道・交通サービスコース			授業形式	演習
実施期	1年 前期	単位数	前期：1単位	時間数	前期：26時間
担当	講師名：日本ケアフィット共育機構 専任講師				
	実務経験：有	実務経験内容：サービス介助士インストラクターとしての経験あり。			
授業概要	サービス介助士資格の取得を目指し、公式テキストを使用した学習と実技演習を行う。				
到達目標	サービス介助士の事前課題を完成させ、提出する。筆記試験の合格を目指して知識を定着させる。また、基本的な介助技術を身につける。				
検定資格	なし				
教科書 教材	サービス介助士資格取得講座テキスト				
授業計画	1 オリエンテーション、ユニバーサルデザインについて				
	2 ホスピタリティ・マインド、ノーマライゼーションについて				
	3 障害の捉え方、障害者差別解消法について				
	4 高齢者への接遇、認知症について				
	5 車いす利用者への接遇				
	6 聴覚障害者への接遇				
	7 視覚障害者への接遇				
	8 知的・発達・精神障害者への接遇、身体障害者補助犬について				
	9 サービス介助士事前課題への取り組み				
	10 サービス介助士事前課題への取り組み				
	11 サービス介助士事前課題への取り組み				
	12 サービス介助士事前課題への取り組み				
	13 テスト返却とまとめ				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：授業理解度 80%以上、出席率 90%以上、平常点優 B：授業理解度 60%以上、出席率 80%以上、平常点良 C：授業理解度 40%以上、出席率 60%以上、平常点可 D：授業理解度 40%未満、出席率 60%未満、平常点不可				

25年度シラバス（授業計画）

科目名	サービス接遇		科目区分	専門科目
対象	テーマパーク科・観光科・鉄道科		授業形式	講義
実施期	1年 前期	単位数	前期：1単位	時間数
担当	講師名：石神 直人			
	実務経験 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	実務経験内容：観光業界にて実務経験あり。サービス接遇1級所持。		
授業概要	観光業界の接客において必要な基礎知識習得やケーススタディによる基礎接客を身に付ける・			
到達目標	サービス接遇検定3級程度の知識・技能を身に付ける。			
検定資格	なし・必修・ <input checked="" type="radio"/> 任意 名称：サービス接遇検定			
教科書 教材	サービス接遇検定 公式テキスト 3級（早稲田教育出版）			
授業計画	1 サービススタッフの資質①必要とされる条件	問題解答及び解説・実践ロールプレイ		
	2 サービススタッフの資質②従業要件	問題解答及び解説・実践ロールプレイ		
	3 専門知識① サービス知識	問題解答及び解説・実践ロールプレイ		
	4 専門知識① 従業知識	問題解答及び解説・実践ロールプレイ		
	5 一般知識①社会常識	問題解答及び解説		
	6 一般知識②社会常識	問題解答及び解説		
	7 一般知識③社会常識	問題解答及び解説		
	8 対人技能①人間関係	問題解答及び解説		
	9 対人技能②対人技能	問題解答及び解説・実践ロールプレイ		
	10 対人技能③話し方・服装	問題解答及び解説・実践ロールプレイ		
	11 実務技能①問題処理・環境整備	問題解答及び解説		
	12 実務技能②金品管理・社交業務	問題解答及び解説		
	13	まとめと振り返り		
成績評価 方法	下記評価基準に基づく			
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 60%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可			

25年度シラバス（授業計画）

科目名	鉄道受験対策			科目区分	専門科目
対象	鉄道科 鉄道・交通サービスコース			授業形式	講義
実施期	1年 後期	単位数：2単位	後期：2単位	時間数	後期：52時間
担当	講師名：中山 健也 / 立石 智之				
	実務経験：有・無	なし			
授業概要	鉄道業界への就職を見据えて必要な対策行っていく授業となっています。業界研究や企業研究をはじめ、クレペリン検査対策や筆記対策、自己PRや志望動機の添削、面接指導などを行いながら実際の試験を迎える前にしっかりとした対策を行うことで自身の将来に向けての準備を進めていきましょう。				
到達目標	鉄道業界での就職を行うにあたって、様々な対策を行い自身で活動が出来るようにする				
検定資格	なし・必修・任意 名称：				
教科書 教材	なし（適宜、資料を用意します）				
授業計画	1 業界筆記試験対策①（クレペリン対策、分数）	1 業界研究①（鉄道大手）			
	2 業界筆記試験対策②（クレペリン対策、分数）	2 業界研究②（鉄道準大手）			
	3 業界筆記試験対策③（クレペリン対策、分数）	3 業界研究③（大手私鉄、その他）			
	4 業界筆記試験対策④（クレペリン対策、分数）	4 自己PR・志望動機対策①			
	5 業界筆記試験対策⑤（クレペリン対策、速さ）	5 自己PR・志望動機対策②			
	6 業界筆記試験対策⑥（クレペリン対策、速さ）	6 自己PR・志望動機対策③			
	7 業界筆記試験対策⑦（クレペリン対策、速さ）	7 自己PR・志望動機対策④			
	8 業界筆記試験対策⑧（クレペリン対策、速さ）	8 面接指導①			
	9 業界筆記試験対策⑨（クレペリン対策、GW）	9 面接指導②			
	10 業界筆記試験対策⑩（クレペリン対策、GW）	10 面接指導③			
	11 業界筆記試験対策⑪（クレペリン対策、GW）	11 面接指導④			
	12 期末試験対策	12 面接指導⑤			
	13 期末試験解説	13 総合面接対策			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験および授業理解度 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験および授業理解度 60%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験および授業理解度 40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験および授業理解度 40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

25年度シラバス（授業計画）

科目名	鉄道の技術と仕組み			科目区分	専門科目
対象	鉄道科 鉄道・交通サービスコース			授業形式	講義
実施期	1年 後期	単位数	前期：2単位	時間数	前期：52時間
担当	講師名：企業 / 響 丈				
	実務経験：(有)・無	実務経験内容：東急テクノシステム/京王電鉄にて11年勤務			
授業概要	整備部門のプロ視点と運輸部門のプロの視点から、鉄道の技術について学びます。				
到達目標	運輸部門の専門知識だけでなく、技術・整備部門の専門技術にも触れて知識を深める。 また、整備部門への進路斡旋も図る。				
検定資格	(なし)・必修・任意 名称：				
教科書 教材	わかりやすい鉄道技術 [鉄道概論・車両編・運転編]-改訂版-				
授業計画	1 オリエンテーション				
	2 技術部門（東急テクノシステム）の業務について（車両整備・電力・保線）				
	3 工具の名前・使い方				
	4 電力設備・変電所				
	5 車両改造・車両譲渡				
	6 8500系研修車両				
	7 床下機器				
	8 高圧回路				
	9 低圧回路				
	10 乗務員室内の機器（車掌編）				
	11 乗務員室内の機器（運転士編）				
	12 テスト対策				
	13 テスト返却				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験90%以上、出席率90%以上、平常点 優 B：評価試験70%以上、出席率80%以上、平常点 良 C：評価試験40%以上、出席率60%以上、平常点 可 D：評価試験40%未満、出席率60%未満、平常点 不可				

25年度シラバス（授業計画）

科目名	ホスピタリティ		科目区分	専門科目	
対象	昼間部 観光科・鉄道科・エアライン科・テーマパーク科 全コース		授業形式	演習	
実施期	1年 後期	単位数	後期：1単位	時間数	後期：26時間
担当	講師名：黒坂 明子				
	実務経験：☑	無	客室乗務員		
授業概要	ホスピタリティマインドとは【相手の立場に立って考え相手を慮る心】です。ホスピタリティの精神を理解し、おもてなしの心を感じよく表現できる人材の育成を目的とします。心理学の知見を応用し行動変容の重要性を学び、自己肯定感を高めることからスタートします。様々なワークを通し、おもてなしの実例に触れながら共に考え、ITHの教育理念に基づいた「ホスピタリティ豊かな人材の育成」のゴールを目指します。				
到達目標	あらゆるタイプの人とも上手に交流できるようになる 周りからみられている自分のイメージを確認し、自己改善を図る おもてなしの心を形にすることができるようになる				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書 教材	ホスピタリティマインド養成ワークブック (ホロス人材開発研究所・高畑吉宏)				
授業計画	1 オリエンテーション・・・ホスピタリティとは・定義とゴールの確認、自分自身のフィードバック				
	2 ホスピタリティマインドの理解・・・ホスピタリティマインドとおもてなしの心				
	3 自己理解・自己受容・・・まずは自分を知ろう 心理学による自己分析				
	4 自己理解・自己受容・・・人との関わり方において強み弱みに気づき、自己改善に繋げる				
	5 ホスピタリティの確立・・・自己肯定感を高める プラス思考とプラスの視点				
	6 他者理解・他者受容・・・価値観とは グループ討議				
	7 他者理解・他者受容・・・自分や他者のものの見方や考え方の違いを知る				
	8 ホスピタリティの発揮・・・印象ゲーム 他者目線からの自分のイメージを知る				
	9 ホスピタリティの発揮・・・自画像と他画像の違い 第一印象の重要性 心の4つの窓				
	10 豊かな触れ合い・・・ストロークとは 心の栄養物				
	11 豊かな触れ合い・・・人との交流に欠かせないプラスのストローク				
	12 ホスピタリティサービスの本質・・・モノ的なサービスとヒト的なサービス CSとお客様の心理				
	13 ホスピタリティ企業のおもてなしから・・・「おもてなしの心」を「形」に・・・				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験 85%以上、出席率 90%以上、平常点 A B：評価試験 60%以上、出席率 80%以上、平常点 B C：評価試験 40%以上、出席率 60%以上、平常点 C D：評価試験 40%未満、出席率 60%未満、平常点 D				